

令和6年度 農作物病虫害発生予察9月月報

令和6年(2024年)10月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
9.1	27.3	25.6	1.7	34.6	30.8	3.8	22.3	21.7	0.6
9.2	28.7	24.9	3.8	35.9	30.2	5.7	23.4	21.0	2.4
9.3	29.9	24.1	5.8	35.2	29.4	5.8	26.1	20.1	6.0
9.4	30.0	23.1	6.9	35.0	28.6	6.4	26.8	19.0	7.8
9.5	25.1	22.1	3.0	29.8	27.6	2.2	21.3	17.8	3.5
9.6	25.4	21.2	4.2	32.0	26.7	5.3	20.8	16.8	4.0
平均・計	27.7	23.5	4.2	33.8	28.9	4.9	23.5	19.4	4.1
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
9.1	0.0	34.3	△ 34.3	47.1	26.7	20.4			
9.2	--	31.5	--	47.9	26.0	21.9			
9.3	0.0	29.7	△ 29.7	38.3	25.5	12.8			
9.4	0.0	29.0	△ 29.0	38.8	25.5	13.3			
9.5	41.5	28.6	12.9	21.9	25.5	△ 3.6			
9.6	19.5	26.9	△ 7.4	35.4	25.5	9.9			
平均・計	61.0	148.5	△ 87.5	229.4	154.7	74.7			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : コシヒカリ」、「ひとめぼれ」は、概ね収穫済みで、収量は平年並の見込み。また、中生品種の出穂期は平年並で穂数がやや少なく、成熟期がやや早い～平年並の見込み。
- (2) ダイズ : 6月播種は子実肥大期、7月播種は莢伸長期。着莢は概ね平年並みだが、干ばつによる落花・落莢が散見され、一部ほ場では、著しく生育が阻害された。
- (3) カンキツ : 裏年傾向で着果量が少ないことから、果実肥大は平年並みからやや大きい。糖度は平年に比べ概ね高く、酸は低い傾向となっている。7月以降高温が続いたことから、日焼け果の発生が多い。
- (4) ナシ : 9月末までに収穫された品種では、品種・産地でばらつきが見られ、果実肥大はやや小から平年並み、糖度は平年並から高かった。無袋栽培を中心にカメムシによる被害果の発生が多かった。
- (5) キャベツ : 8月下旬頃から9月下旬にかけて定植が行われた。台風の影響による定植遅れや、降雨が少なかったことによる定植遅れが見られた。また高温の影響により生育は停滞気味の状況。
- (6) イチゴ : 定植作業は9月下旬頃までに行われた。花芽分化状況は、各品種ともバラつきが見られ、例年よりも分化が遅れているほ場があった。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2024年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病 (穂いもち) (調査ほ場数：中旬53 下旬33)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率24.5% (平年25.2%)、発病株率7.4% (平年7.0%)、発病穂率0.8% (平年1.3%)、被害度0.5 (平年0.9) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.3% (平年32.7%)、発病株率9.5% (平年10.8%)、発病穂率0.6% (平年2.4%)、発病度0.3 (平年1.8) で平年並みであった。	県内全域	少 3,089
紋枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率43.4% (平年26.4%)、発病株率9.1% (平年6.1%)、発病度4.4 (平年2.4) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.5% (平年32.8%)、発病株率9.3% (平年7.6%)、発病度4.4 (平年3.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 441
			少 4,634
			計 5,075
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率58.5% (平年32.1%)、発病株率33.2% (平年17.1%)、発病度8.3 (平年4.6) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率81.8% (平年41.9%)、発病株率46.5% (平年25.8%)、発病度12.7 (平年7.4) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 2,648
			少 4,193
			計 6,841
白葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.1%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—
縞葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：47)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.9% (平年3.2%)、発病株率3.9% (平年0.5%)、発病穂率0.3% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 221
			少 1,103
			計 1,324
稲こうじ病 (調査ほ場数：中旬40 下旬33)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率2.5% (平年7.7%)、発病株率0.2% (平年1.1%) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年24.3%)、発病株率0% (平年2.6%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	中 221

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イネ トビイロウンカ (調査ほ場数：中旬53、 下旬33)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.8% (平成29.3%)、10株当たり虫数0.0頭 (平成17.5頭)、10株当たり短翅型成虫数 0.0頭(平成1.0頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.1% (平成26.0%)、10株当たり虫数0.1頭(平 年11.2頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭 (平成0.3頭)で平成並みであった。 定期巡回調査経路上における坪枯れ発生ほ 場視認調査では、中旬調査、下旬調査共に 発生が認められなかった。	県内全域	少	883
コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率64.2% (平成35.4%)、被害葉率3.0%(平成 1.2%)で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率60.6% (平成39.9%)、被害葉率10.0%(平成1.7%) で平成に比べ多かった。	県内全域	甚 多 中 少 計	662 662 662 2,427 4,413
イネクロカメムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.8% (平成1.3%)、25株あたり虫数0.1頭(平 年0.0頭)で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.1% (平成1.1%)、25株あたり虫数0.1頭(平 年0.0頭)で平成に比べ多かった。	県内全域	少	441
ニカメイガ、イネ ヨトウ	中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認め られず平成並みであった。	—	—	—
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：中旬10)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% (平成48.5%)、20回すくい取り虫数2.7 頭(平成1.6頭)で平成に比べやや多かっ た。主要種はイネカメムシ、ミナミアオカ メムシ、クモヘリカメムシであった。	県内全域	多 中 少 計	221 221 883 1,325
イネカラバエ (調査ほ場数：53)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—	—
ダイズ (調査ほ場数：21) べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.9% (平成37.2%)、発病株率17.7%(平成 25.9%)、発病度4.4(平成6.6)で平成に 比べやや多かった。	県内全域	少	507
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平成36.6%)、発病株率16.8%(平成 26.0%)、発病度4.9(平成6.7)で平成に 比べやや多かった。	県内全域	中 少 計	46 323 369

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ 立枯性病害(白絹病、黒根腐病等)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年2.9%)、発病株率0.1% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。 発生の主体は、黒根腐病であった。	県内全域	少	92
褐色輪紋病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.6% (平年33.7%)、発病株率15.2% (平年22.4%)、発病度4.0 (平年9.5) で平年並みであった。	県内全域	少	461
ハスモンヨトウ (調査ほ場数：中旬20、下旬19)	中旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率55.0% (平年45.7%)、1a当たり白変か所数1.1か所 (平年1.0か所)、m ² 当たり虫数1.1頭 (平年1.6頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、白変葉発生ほ場率63.2% (平年26.2%)、1a当たり白変か所数4.2か所 (平年0.5か所)、m ² 当たり虫数12.1頭 (平年0.8頭) で平年に比べ多かった。 齢期は若中齢が主体であった。	県内全域	甚多	138
			中少計	46 138 230 552
吸実性カメムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年59.5%)、m ² 当たり虫数0.6頭 (平年0.6頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率68.4% (平年68.4%)、m ² 当たり虫数1.2頭 (平年1.0頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	46
			中少計	184 369 599
アブラムシ類 (調査ほ場数：19)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年27.3%)、10葉当たり虫数0.1頭 (平年8.3頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	92
サヤムシガ類 (調査ほ場数：中旬20、下旬19)	中旬の巡回調査では、発生ほ場30.0% (平年3.3%)、25株当たり被害か所数は2.0 (平年0.1) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年2.4%)、25株当たり被害か所数は2.5 (平年0.0) で平年に比べ多かった。	県内全域	中	138
			少計	138 276
ウコンノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年25.4%)、被害株率8.2% (平年5.3%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年7.0%)、被害株率3.2% (平年0.7%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	184
			少計	92 276

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ ウワバ類等のチョ ウ目	中旬の巡回調査では、発生ほ場率71.4% (平成79.1%)、m ² 当たり虫数0.9頭(平 年1.5頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率84.2% (平成66.9%)、m ² 当たり虫数1.0頭(平 年0.8頭)で平成並みであった。 主要種はウワバ類であった。	県内全域	中	369
			少	369
			計	738
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平成18.2%)、m ² 当たり虫数0.1頭(平 年0.1頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平成10.0%)、m ² 当たり虫数0.0頭(平 年0.0頭)で平成並みであった。	県内全域	少	230
フタスジヒメハム シ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率85.0% (平成78.1%)、m ² 当たり虫数8.1頭(平 年11.2頭)で平成に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平成82.3%)、m ² 当たり虫数26.3頭(平 年12.2頭)で平成に比べ多かった。	県内全域	甚	323
			多	323
			中	138
			少	92
			計	784
コガネムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年6.9%)、被害度0(平成1.4)で平成並 みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年2.1%)、被害度0(平成0.4)で平成並 みであった。	—	—	—
ダイズサヤタマバ エ (調査ほ場数:19)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年10.0%)、被害率0%(平成0.2%)で平成 並みであった。	—	—	—
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平成7.6%)、発病果率2.6%(平成 0.5%)、発病度1.2(平成0.2)で平成並 みであった。	県内全域	中	55
			少	55
			計	110
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率94.7% (平成85.6%)、発病果率21.8%(平成 25.9%)、発病度4.6(平成6.6)で平成並 みであった。	県内全域	中	55
			少	932
			計	987
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.4% (平成18.9%)、寄生葉率4.1%(平成3.3%) で平成に比べやや多かった。	県内全域	中	55
			少	438
			計	493
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.5%)、寄生果率0%(平成0.0%)で平成並 みであった。	—	—	—

2024年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年17.8%)、寄生新梢率0.1% (平年1.9%) で平年に比べやや少なかった。主要種はユキヤナギアブラムシであった。	県内全域	少 55
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年1.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 55
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.6% (平年32.3%)、寄生果率1.5% (平年2.1%) で平年並みであった。	県内全域	中 110 少 219 計 329
チャノキイロアザミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.3%)、被害果率0% (平年0.4%) で平年に比べ少なかった。	—	—
ナシ (調査ほ場数:14) 黒斑病 (二十世紀:8)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年16.7%)、発病葉率1.0% (平年0.0%)、発病新梢率8.8% (平年3.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 9 多 9 中 18 計 36
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年21.3%)、発病葉率1.7% (平年0.6%) でやや少なかった。	県内全域	多 10
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病葉率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年16.0%)、寄生葉率0% (平年2.1%) で平年に比べ少なかった。	—	—
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.7%)、寄生葉率0% (平年0.7%) で平年に比べ少なかった。	—	—
ナシヒメシンクイ	8月26日～9月25日のフェロモントラップ (県内2カ所) における誘殺数は27頭 (平年56.2頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	8月21日～9月20日の予察灯 (県内4カ所) における誘殺数は517頭 (平年486頭) で平年に比べやや多かった。主要種はチャバネアオカメムシであった。	県内全域	—

3 野菜

2024年9月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数:11) モンシロチョウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年12.3%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。	県内全域	少 14
コナガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年9.5%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭) で平年並みであった。	県内全域	少 14
ヨトウガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年3.8%)、寄生株率0.5% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 14
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率72.7% (平年29.6%)、寄生株率11.3% (平年2.4%) で平年に比べ多かった。 主体は卵～若齢幼虫であった。	県内全域	甚 28
			中 14
			少 69
			計 111
シロイチモジヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年10.0%) 寄生株率0.9% (平年0.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 14
			少 14
			計 28
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.0%)、寄生株率0% (平年0.4%) で平年並みであった。	—	—
ハイマダラノメイガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1% (平年1.8%)、寄生株率0.5% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 14
ウワバ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.3%)、寄生株率0% (平年0.2%) で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年27.0%)、寄生株率0.7% (平年1.9%) で平年並みであった。	県内全域	少 28
イチゴ (調査ほ場数:8) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.1%)、発病株率0% (平年1.4%)、発病葉率0% (平年0.5%) で平年並みであった。	—	—
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年1.3%)、発病株率0.6% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 5
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年24.7%)、寄生株率0% (平年4.7%) で平年に比べ少なかった。	—	—
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年16.8%)、寄生株率0.8% (平年0.6%) で平年並みであった。	県内全域	中 5
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年19.8%)、寄生株率10.0% (平年5.8%) で平年並みであった。	県内全域	甚 5

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
イチゴ コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年14.9%)、寄生株率0% (平年3.0%) で平年に比べ少なかった。	—	—																		
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%) 寄生株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—																		
シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—																		
野菜、花き類 アブラムシ類	防府市牟礼の黄色水盤トラップ(9月1日～30日)の誘殺数は197頭(前年222頭)であった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は8,013頭(前年7,772頭)であった。8月21日～9月20日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数は13,429頭(平年8,644頭)で平年に比べやや多かった。 フェロモントラップでの誘殺数(頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>6,273</td> <td>3,057</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>1,195</td> <td>999</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>119</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>2,941</td> <td>2,020</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>2,901</td> <td>2,370</td> </tr> </tbody> </table> ※8月21日～9月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	6,273	3,057	山口市阿東	1,195	999	萩市明木	119	198	下関市清末	2,941	2,020	柳井市伊陸	2,901	2,370	県内全域	—
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	6,273	3,057																			
山口市阿東	1,195	999																			
萩市明木	119	198																			
下関市清末	2,941	2,020																			
柳井市伊陸	2,901	2,370																			
オオタバコガ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は138頭(前年130頭)であった。	県内全域	—																		
シロイチモジヨ トウ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は111頭(前年325頭)であった。	県内全域	—																		
コナガ	9月のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は0頭(前年0頭)であった。	県内全域	—																		

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病虫害防除所)

TEL (0835)28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp